



2024年11月14日

各 位

会社名 相模ゴム工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大跡一郎
(コード番号 5194 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役 吉田邦夫
(TEL. 046-221-2311)

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異 及び営業外収益(為替差益)計上に関するお知らせ

2025年3月期第2四半期連結会計期間での営業外収益(為替差益)の計上及び2024年5月17日に公表しました2025年3月期第2四半期(中間期)(2024年4月1日~2024年9月30日)の連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 営業外収益(為替差益)の計上額

2025年3月期第2四半期連結会計期間において、外国為替相場の変動に伴い、為替差益552百万円を営業外収益として計上いたしました。この為替差益の変動は、主に当社及び在外連結子会社の外貨建資産及び負債を期末為替レートで評価したことによるものであります。

2. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,150	百万円 250	百万円 200	百万円 120	円 銭 11.05
今回実績値(B)	3,024	38	538	390	35.93
増減額(B-A)	△125	△211	338	270	—
増減率(%)	△4.0	△84.5	169.2	225.0	—
(ご参考)前期中間実績 (2024年3月期中間)	3,193	278	343	145	13.39

3. 差異の理由

2024年3月期中間(累計)連結業績につきましては、ヘルスケア事業及びプラスチック製品事業において販売価格の改定を行いました。売上高はヘルスケア事業が5.0%減・プラスチック製品事業が1.5%減となり、営業利益は原材料や仕入コストの上昇や一般管理販売費の一時的な増加により前回発表予想を下回りました。

また、営業外収益に為替差益552百万円を計上したことにより、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は前回発表予想を上回りました。

4. 今後の見通し

2025年3月期の通期業績予想につきましては、為替相場の動向やさまざまな要因を含めて、適正かつ合理的に算定することができ次第、修正を公表いたします。

以 上